

## 阪神・淡路大震災関係資料 概要

- 1：文書群番号 仮目録に記載
- 2：文書群名 仮目録に記載
- 3：出所 仮目録に記載
- 4：家業・役職等 ー
- 5：地名 兵庫県尼崎市・神戸市・芦屋市他被災自治体
- 6：行政区分 尼崎市・神戸市・芦屋市他
- 7：歴史 平成7年(1995)年1月17日5時46分、淡路島北部深さ16kmを震源とするマグニチュード7.3の地震が発生した(阪神・淡路大震災)。尼崎市域は推定震度6で、激甚被害地域の東端に位置しており、死者49名、負傷者7,145名、全壊5,688棟、1万1,034世帯、半壊3万6,002棟・5万1,540世帯を数え、甚大な被害を引き起こした。
- 8：伝来 阪神・淡路大震災に係る当該文書群一覧(仮目録)は、尼崎市立地域研究史料館が震災後に「震災資料」として収集したもの、あるいは寄贈を受けたもの。
- 9：史料入手先 ー
- 10：点数 435点(目録件数82件)
- 11：年代 平成7年(1995)～平成15年(2003)
- 12：構造と内容 阪神・淡路大震災に関して尼崎市立地域研究史料館が震災後に「震災資料」として収集したもの、あるいは寄贈を受けたものである。少点数の文書群が多いため、公開に際しては集約し、一覧化することで利用の便を図った。特徴的な文書群として、「築地地区震災復興関係資料」(1)～(3)(文書群番号095215、095216、095222)、「阪神・淡路大震災武庫地区会館避難所関係資料綴」(095208)などがある。
- 13：関連史料 ー
- 14：閲覧条件 原本
- 15：作成者 松本望・三浦寿代

- ※ 本来文書群ごとに概要を作成すべきところであるが、尼崎市立地域研究史料館が収集した「震災資料」のすがたを提示することを目指し、一括して概要を作成した。
- ※ 「震災資料」として収集した資料の集約を松本・三浦で担当し、目録における「内容」の項目の検討や目録編成、概要の執筆を松本が担当した。
- ※ 現在プライバシー情報等の閲覧制限について検討中であることから、公開できていない文書群もある。検討終了次第、随時仮目録に追加していく。(令和2年3月30日現在)